

共通語方言変換

石橋 季之 天野 真家

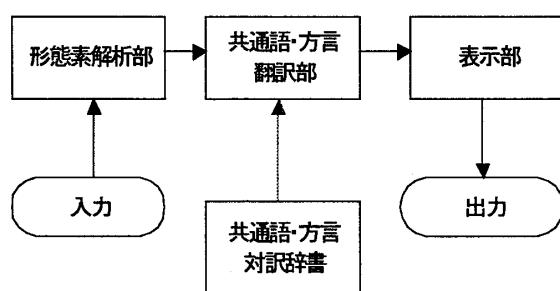
湘南工科大学 工学部 情報工学科

1. はじめに

方言は日本の文化であり共通語より多くの感情を移入することが可能であると考えられる。しかしながら、方言を入力することができるワードプロセッサは市販されていない。我々は共通語から方言への翻訳システムを試作しているので報告する。

共通語を方言に変換するための一般的な方法を検討している。この方法によれば、辞書と形態素解析部の文法部分を交換するだけで、共通語の文章を日本各地に存在している方言に翻訳することが可能となる。現在、プロトタイプ of 形態素解析には、奈良先端科学技術大学院大学松本研究室で開発された茶釜を用いている。

2. システムの構成



3. システムの処理工程

入力された文字列を茶釜で解析し、その解析結果の中にある単語を共通語・方言対訳辞書を用いて翻訳する。今回の実験では宮城県の方言を使用している。

4. 辞書の作成方法

辞書を作成するにあたり、方言話者から単語を収集した。自立語は比較的容易に入手することができた。自立語の場合は一対一の対応が見られるためである。しかし付属語の場合には、方言の話者が文法に詳しくないので助動詞、助詞などを認識できず、語としての収集が困難であり、自立語ほど容易でなかった。結局、自立語、付属語のどちらも簡単な共通語の文章を方言に翻訳してもらうアンケートを作成して収集した。

5. アンケート内容

アンケートは大きく分けて2種類作成した。一つは助詞、助動詞を調べる為のアンケート、もう一つは名詞、動詞、形容詞などの自立語を調べる為のアンケートである。

助詞、助動詞のアンケートに関しては、共通語の助詞と助動詞を、それぞれに関して方言でどのように言うのか尋ねた。

名詞や動詞などに関しては実際に簡単な文章を作成し、方言話者に記述してもらったものから必要な名詞や動詞などを拾い単語を取得した。

6. アンケートの例：

<「ある」に関して>
 歩けそうにあらず
 歩けるであろう
 歩けそうであります

運があつた
運がある
やる気のある人
夢があればいい
強い人であれ

<格助詞に関して>

が	彼が来る
の	私の部屋
に	私に何か用？
へ	学校へ行く
を	先生を呼ぶ
で	車で出かける
から	学校から帰る
より	うどんよりそばが好き

これらは作成したアンケートの一部で、実際にはまだ項目がある。この助詞についてのアンケートでは、必要としているものは名詞などではないため例文は短く簡単なものとした。

7. 語彙収集の難しさ

「食べてください」は宮城弁では「あがいん」になる。「食べてください」は「食べ・て・ください」と3語で構成されているが、「あがいん」はどのような形態素に分かれているのかが不明である。このような形態素そのものの認定と付属語の縮退現象があることが語彙収集を困難にしている。

共通語の付属語と方言の付属語には並び方に差異がある場合があるので、共通語では三つの付属語があるのに対して方言では二つの付属語で済む場合や、逆に共通語には無い付属語が方言では存在する場合もあり、そ

の場合の対処も必要である。

8. 問題点

実際にアンケートに記入してもらう方法で言葉を収集したが、協力して頂いた方々からは「方言は話し言葉だから例文を方言にするのは難しい」、「深く考えて使っていないから例文を翻訳する際に悩んでしまう」などの感想を頂いた。これらのことから記述よりも実際の会話の中から言葉を収集するほうが信憑性は高いと思われる。

9. 最後に

今後は、アンケートでの言葉の収集に改良できる点がまだありそうなので、より良いアンケートの作成または、アンケート以外の収集方法を考案する。

参考文献

宮城県北部（登米）の方言：

<http://www.d1.dion.ne.jp/~deramusi/page4.htm>

茶筌：

<http://chasen-legacy.sourceforge.jp/>